

# 伊丹ルーテル教会 復活節第二主日礼拝

## 2020年4月19日

父と、御子と、聖霊の御名により、**アーメン**。

### 招きのことば：詩編 16 編より

神よ、わたしを守ってください、あなたを避けどころとするわたしを。

主に申します。「あなたはわたしの神。あなたのほかにわたしの幸いはありません。」

主はわたしの思いを励まし、わたしの心を夜ごと諭してくださいます。

主は右にいましわたしは揺らぐことはありません。わたしの心は喜び、魂は躍ります。

からだは安心して憩います。あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく

あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず命の道を教えてくださいます。

### 罪の悔い改めと赦しのことば

**会衆：**私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。

思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。

私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。 (短い黙祷を持ちましょう)

**牧師：**何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。

ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。**アーメン**。

### 使徒信条

**われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。**

**われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。**

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、

陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天にのぼり、

父なる全能の神の右に座したまえり。

生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

**我は聖霊を信ず、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、**

からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。

アーメン。

## 祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

あなたは御子イエス・キリストを死からよみがえらせ、天と地のすべてのものの主としてくださいました。私たちがあなたの愛から引き離そうとするさまざまな試みを乗り越えることができるように、復活の主を信じる信仰で満たしてください。

新型コロナウイルスの感染拡大によって多くの方々が苦しみの中におられます。私たちも日々大きな恐れの中におられます。私たちに助けてください。病気の治療にあたっている方々、生活の必需品を整えるために日夜働いてくださっている方々の労苦を癒やし、お支えください。

今週もビデオやプリントによって、私たちは別々のところで同じ礼拝にあずかります。この礼拝ができるようにかげにあつて力になってくださった方々を祝福してください。私たちは復活の主イエス様のみ言葉を聴きます。どうぞお語りください。

この祈りを私たちの救い主であり主であるイエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。 **アーメン。**

## 使徒書朗読：第1ペテロ 1:3-9

わたしたちの主イエス・キリストの父である神が、ほめたたえられますように。

神は豊かな憐れみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え、また、あなたがたのために天に蓄えられている、朽ちず、汚れず、しぼまない財産を受け継ぐ者としてくださいました。

あなたがたは、終わりの時に現されるように準備されている救いを受けるために、神の力により、信仰によって守られています。それゆえ、あなたがたは、心から喜んでいるのです。

今しばらくの間、いろいろな試練に悩まねばならないかもしれませんが、あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊くて、イエス・キリストが現れるときには、称賛と光栄と誉れとをもたらすのです。

あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛し、今見なくても信じており、言葉では言い尽くせないすばらしい喜びに満ちあふれています。それは、あなたがたが信仰の実りとして魂の救いを受けているからです。

## 福音書朗読：ヨハネ 20:19-31

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」

さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

### 説教「信じる者になりなさい」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、み言葉をとりつぎます。

今年は伊丹ルーテル教会の創立40周年をお祝いする年です。誰も予測していなかったのですが、先週のイースターの日曜日からビデオやプリントとともに礼拝にあずかっています。YouTubeは150回再生されていました。教会から連絡させていただいた方々と共に、ご一緒に集まれない方々や、遠くで伊丹教会のためにお祈りくださっている方々も一緒に、礼拝にあずかることができましたのでしょ。感謝ですね。では、イースターのご挨拶をいたしましょう。

「ハレルヤ、イエス・キリストはよみがえられました」と言いますから、皆さんは「ハレルヤ、イエス・キリストはたしかによみがえられました」とおっしゃってください。

**牧師**：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

**会衆**：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

イースターの日の朝、日曜日の朝早く、マグダラのマリアはイエス様が葬られた横穴式の墓に行きました。墓の外で泣いていたマリアに、復活されたイエス様が現れてくださったので、マリアは再び弟子たちのところへ行って、「わたしは主をみました」と告げました。今日お読みしたヨハネの福音書20章19節からの箇所は、その日の夕方のことです。お弟子たちはイエス様が死んでしまわれたことで、身の危険を感じて恐れにおそわれていました。見つかったら自分たちも苦しめられるかもしれない。家の戸に鍵を内側からかけて集まっていた。

そこにイエス様が来て、彼らの真ん中に立ってシャローム！「あなたがたに平和、平安があるように」と言われました。当時みんなが交わっていた挨拶のことばですが、イエス様が与える平安はヨハネ14章27節にあるように世が与えるような平安とは根本的に違って、弟子たちを赦し、弟子たちにあたらしい命の息吹を与える安心と希望です。

驚くお弟子たちにイエス様は、ご自分の手とわき腹の傷の跡をお見せになりました。それは十字架の上で死んでくださった方にしかないものです。お弟子たちは、そうか！イエス様は前に約束して下さっていた通り、よみがえってくださったのだ！と気づきました。大きな喜びに包まれました。恐れと後悔と絶望の中でよみがえられたイエス様に会える驚きと喜び、これがイースターです。私達も毎週日曜日に集まるごとに小さなイースターを祝ってきました。

イエス様はお弟子たちに「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」とおっしゃっていますね。お弟子たちにこの世へ出て行ってイエス様の十字架と復活のメッセージをお伝えするように、と派遣されたのです。イエス様はお弟子たちに息を吹きかけて「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る」と言っておられます。最初の人間アダムが作られたとき神様は「土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた」と、創世記2章7節以下に書かれています。このときイエス様はお弟子たちを、罪と死の支配から解放して、神の子として永遠の命に生きる新しい人間に再創造されたのです。あたらしくつくってくださる再創造、なんとすばらしいことでしょうか。また、人の罪を赦すように、という使命を与えられました。お弟子たちは、罪の赦しを告げ知らせる者とされたのです。

しかしそこにお弟子たちのひとり、トマスはいませんでした。「私たちはイエス様に会った！」とほかのお弟子たちから聞いたのですが、いや、私は自分で確かめないと信じない、とがんこに疑っていました。それでもトマスは八日の後、つまり次の日曜日、一緒に集まっていました。そうです、お弟子たちはそれまで人々を恐れて、自分たちから心の壁をつくっていたのですが、よみがえったイエス様に会って、安心して、再創造されて、内側から扉をあけて、大切な仲間であるトマスを探し出して、イエス様のことを伝えていたのです。

また、お弟子たちはトマスを赦していました。人を赦すこと、人を大切にすることが、イエスの復活の証人として派遣されているお弟子たちの新しい生き方でした。確かに罪を赦されたから、自分も人の罪を赦していくそのようにさせてください、私達も主の祈りで毎週祈っていますね。私達は礼拝からいとも簡単に離れてしまいます。その違和感もしばらくすると何とも思わなくなることさえあります。トマスはどうでしょうか。他のお弟子がイエス様に会ったと言っているけれど自分はそう思わない、かつて自分は死をも恐れずイエス様に従うと言ったのに私はイエス様を見殺しにしてしまい何もできなかった、と自分を責める気持ちもあった

のかもしれませんが。いや反対に、イエス様は死なないと思っていたのに死なれた無力な方だという失望もいりまじっていたのかもしれませんが。

信じる、というのは、イエス様がその十字架の死によってあなたの罪を赦し、その復活の命によってあなたに新しい息吹をあたえてくださる方だ、ほんとうにそうであってよかった！と気づいて、歩みを進めることです。生きてると直面するいろいろな現実があります。自分がいやになる、人がいやになる、生きていくことがいやになる。自信を失う、人と一緒にいることが苦しくなる、反対に人に受け入れられていない、愛されていないと思って寂しくなる、つい怒りやうらみがこみ上げてきて、心が重くどんより曇ることがあります。でも、私たちは主を見た、復活の主に出会ったという、友達のことば、ほかの弟子たちのことばに励まされて、トマスは確かに次の日曜日と一緒にいました。

イエス様は日曜日の朝、再びお弟子たちの集まっているところに来てくださいました。そして平安を与えました。トマスにむかってすぐに、あなたの手を、あなたの指を、わたしの傷あとに差し入れなさい、とおっしゃいました。イエス様はご存知だったのです。イエス様はトマスに会いに、来てくださったのです。頑固で自分を曲げない自分中心な心を責めず受け入れ、赦して会いに来てくださった。トマスは圧倒的なイエス様のぬくもりにこれまでの気持ちをすっかりかえられて「私の主、私の神よ」と、イエス様への信頼の告白が口から出てきました。

復活のイエス様はあなたに会うために、礼拝でご自分をあらわしてくださいます。イエス様を信じることは、イエス様のあなたへの愛に信頼することです。イエス様の言葉に信用することです。ほかでもないあなたが、大切にされ、あなたの罪が赦され、神の子とされて、我が子として共にいて育ててくださるということを楽しむことです。また、息吹が吹き込まれ、神様にあなたが信頼されて、人々を愛し、人々を赦して、人々に役に立っていくという新しい使命にはつらつと生きていくことです。

イエス様を信頼できない、という心の裏に、もしかするとこんな私が赦されるはずはない、という、確信がある場合があります。こんな自分が新しい心を与えられて充実したいのちに生きるということをあきらめているという場合です。そのあなたの心の真ん中に、今日、あなたのために苦しみ傷ついた動かぬ証拠としてその御手と脇腹の傷跡をそっと見せて、イエス様はあなたを赦し、あなたに息吹を吹き込んで使命を与えてくださいます。私たちは主イエス様に、毎週の礼拝で出会うのです。

見ないで信じる人は幸いです！とイエス様はおっしゃいました。見ないで信じる信仰をイエス様が与えてくださるからです。この一週間イエス様の約束の御言葉に慰められ、イエス様の御言葉に押し出されて、おこがましいことですが人々を赦し、大切にし、立て上げ、共にわかち

あう暖かい心で人々と共に生きていきましょう。苦しむ人と喜んでともに苦しみましょう。死が近く感じられるときもあります。そのとまどいと恐れの中にも実はよみがえられたイエス様がおいでになっています。私たちにも死んでも生きるいのちをあたえてくださいます。

「イエスが来て真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言われた。」  
人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをまもってください。アーメン。

**牧師**：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

**会衆**：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

### **讚美歌 243 番**

1. ああ主のひとみ、まなざしよ。

きよき御前を去りゆきし、富めるわこうど見つめつつ、嘆くはたれぞ、主ならずや。

2. ああ主のひとみ、まなざしよ。

三度(みたび)わが主を否みたる 弱きペテロをかえりみて、赦すはたれぞ、主ならずや。

3. ああ主のひとみ、まなざしよ。

疑いまどうトマスにも、み傷しめして「信ぜよ」と、宣(の)らすはたれぞ、主ならずや。

4. きのうも今日もかわりなく、血潮(ちしお)したたる御手をのべ

「友よ、かえれ」と招きつつ 待てるはたれぞ、主ならずや。 アーメン。

### **主の祈り**

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。  
みこころの天になるごとく地にもなされたまえ。われらの日用のかてを今日も与えたまえ。  
われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。  
アーメン。

### **頌栄の讚美歌 541 番**

父、御子、みたまの大御神に、ときわにたえせず み栄えあれ、み栄えあれ。アーメン。

### **祝福のことば**

仰ぎ来い願わくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しきお交わりが、それぞれのところで共に礼拝にあずかっておられる一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、ゆたかにありますように。アーメン。